



寒さへの備えは、OK?

急速に冷え込み、かぜ症状を訴える人もふえてきています。道内のコロナ感染者数も、油断できぬ数が続いています。教室や寮の部屋の換気(窓の開閉・換気扇の活用)は、こまめにお願います。また、コロナワクチン4回目接種も家の方と相談し、打てるならば、早めに接種してほしいと思います。なお、遠別町での4回目は、土曜のみの予定ですので、できるだけ、地元で受けることをおすすめします。

人との距離感

身体的にも「寒さ」が厳しくなる今頃ですが、中には「人のぬくもり」を求めて、友だちや恋人に毎日くっついてます!という方も多いかもしれませんね。しかしながら、時と場合を考えて行動することが求められるお年頃であることを、忘れないでください。コロナ禍だからこそ、より心の距離感を大事にしたいところですね。

みせかけの自信

友人関係や勉強など、いろいろと上手くいかず、自信を失いかけたとき、あなたはどのような行動や言葉を口にしていますか?

人間は、「他の人に勝ちたい・幸せになりたい」と本能的に思っている... なぜなら、生きるために必要だから...

より力の強い者が生き延びる時代...
肉はすべて、オサマのもの!!
また、トラ吉に肉をとられるニヤ...

でも、強い者もひとたび失敗すれば、弱い者にチャンスが巡ってくる。だから、人は本能的に「他人の失敗を喜ぶ」ようになった。

狩りをしなくても、食肉ものは手に入るけど、あの本能は残っているのです...
誰よりも、たくさん手に入れたい...
ほしいものは、ゆずりたくない...

結果、相手が失敗すると、自分の方がより勝っていると思うよね。でも、それは... 人と比べての結果というだけ...
アタシが、やっぱり一番...
みんな、かしくはないのよね...

自分に自信がなくなると、自信をとり戻そうと、
「あなたなら、どんな行動をとるだろう?」
相手の足をひきよめるニヤ!!
「ヒッヒッ」
「さうなの?」
「うん」

もし、同じチームの子が失敗して負けたら...?
後輩がミスをして、先輩に注意されてたら...?
もし、同級生がミスして、自分に良い役がまわってきたら...?
兄弟が家の手伝いを忘れて叱られていたら...?
友だちが仲間はずれにされて、泣いていたら...
あなたはどんな気持ちになりますか?

もしも、あなたが心の中で、
「相手を見下したくなって、自分の方が強いと思い始めているのなら...」

それは「思い込み」=「みせかけの自信」
そう思い込むことで、自分の自信をとり戻そうとしているだけ...
人の失敗で、自分が強くはならないよね

あなたの成功や幸せは、自分の努力で手に入れるもの
決して、他人の失敗や不幸によって手に入れるものではありません。
もし、そこに喜びを感じるならば、錯覚であることをお忘れなく!